

十二世紀末までの日本各宗に於ける朝鮮仏教 の影響について

福士 慈稔

本稿は、「十二世紀末までの日本仏教に於ける新羅・高麗仏教の影響に関する研究」の基礎作業の中間発表であり「十世紀初までの日本各宗に於ける新羅仏教の影響について」に続くものである。韓国での仏書目録の整理成果である『韓国仏書解題辞典』をベースに『新編諸宗教蔵総録』『東域伝灯目録』『注進法相宗章疏』『古聖教目録』『大小乗経律論疏記目録』『高山寺聖教目録』という十二世紀末頃までの目録整理の報告を行うこととする。

一、『韓国仏書解題辞典』にみられる朝鮮章疏

『韓国仏書解題辞典』(以下『韓仏題辞典』)^{*1}には、著述を著したとされる三国・新羅時代の僧俗48名、高麗時代45名、朝鮮時代84名の著述名が収録されている。本研究の対象は十二世紀末までの目録であるため、整理対象とした目録に収録されていない義天(1055-1101年)以後の諸師は『新編諸宗教蔵総録』にみられる元伝を例外として調査対象から外すこととする。また義天まで『韓仏題辞典』には52名の著述が収録されているが、高句麗篇にただ一人収録されている僧朗、百濟篇に収録されている5名の中で『律疏36巻』を著したとされる曇旭と恵仁、『阿毘曇序』・『新律序』を著したとされる聖王等は目録類で著述の存在が確認できなかったため除外し、百濟僧2名、新羅・高麗僧48名、計50名378部の著述を『韓仏題辞典』から附設「十二世紀末までの目録類にみられる新羅・高麗諸師章疏」に挙げ整理する。また『韓仏題辞典』では新羅篇末に「其の他」として、慧(恵)雲、観智、宗一、慧(恵)景、極太、玄範、神廓の名を記し、確定するべき史料がないとして著述を挙げていない。しかし、本研究では、目録類に恵雲、観智、恵景、極太、玄範、神廓の6名の著述がみられるため、不詳僧として区分し僧名と著述を整理し、最後に目録にみられながら『韓仏題辞典』に収録されていない僧2名とその著述を「新出僧」として整理することとした。尚、附設表のゴシック体の著述は現存書である。

二、『新編諸宗教蔵総録』にみられる朝鮮章疏

『新編諸宗教蔵総録』(以下『義天録』)は高麗義天(1055-1101年)が1090年に撰したものである。朝鮮諸師章疏の整理に当たっては元禄六年(1695)刊大谷大学蔵本を底本として高山寺蔵安元二年(1176)写本を対校させた大正蔵収録本に、今一度安元二年系の高山寺所蔵本^{*2}を対照させた。尚、両本ともに書名の省略がみられるため附設表では省略部分は()内に補うこ

ととした。

同系の写本を用いているため大正蔵収録本と高山寺所蔵本では若干の相違しかみられない。

その相違とは高山寺所蔵本が影印本のため

1-智明『(四分律)羯磨記』が高山寺所蔵本では「羯口記一卷 □□□」

2-円勝『(四分律)木叉記』が「木叉口一卷 圓勝述」

3-道倫・遁倫『(勝鬘經)疏』が「(勝鬘經)疏二卷 □倫述」

4-大賢『(涅槃經)古述記』が「(大涅槃經)□□□□或四卷 太賢」

5-不詳僧に区分する極太『(瑜伽論)羽足鈔』が「(瑜伽論)羽足鈔五卷 極口述」

6-玄範『(涅槃經)鈔』が「(大涅槃經)□□□ 玄範述」

等の判読不能な箇所、また

1-大正蔵収録本の大賢の著述「五蘊論古述記一卷」が高山寺所蔵本では「五蘊論古述記一卷」、「成業論古述記一卷」が高山寺所蔵本では「成業論古述化一卷」、「(正理門論)古述卷一卷」が高山寺所蔵本では「(正理門論)古述記一卷」

2-大正蔵収録本の縁起の著述「(華嚴經)開定決疑三十卷」が高山寺所蔵本では「(華嚴經)開宗決疑三十卷」、「(大乘起信論)珠網三卷或四卷」が高山寺所蔵本では「(大乘起信論)珠納三卷或四卷」

等の誤写と考えられる箇所がそのままの状態で見られるための相違であり、更に道倫・遁倫の表記が両本とも「(法華經)疏三卷 道倫述」・「(維摩經)料簡一卷 遁倫述」とする以外は、大正蔵収録本は「(金光明經)略記一卷 遁倫述」とし高山寺所蔵本は「(金光明經)略記一卷口道倫述」とする。『(勝鬘經)疏』は高山寺所蔵本が「□倫述」とあるため「遁」か「道」か不明であるが、他の『小阿彌陀經疏』・『葉師經疏』・『成唯識論要決』・『瑜伽論疏』・『雜記』については大正蔵収録本では「遁倫述」とし高山寺所蔵本では「道倫述」とする等の僧名表記の混乱からくる相違箇所などである。

尚、大正蔵収録本・高山寺所蔵本共に『(華嚴經)宗要』を一書として別立てしていないが、『(華嚴經)疏十卷』に続いて傍注に「本是八卷今□□第五卷并宗要作十卷也」とあることから『(華嚴經)宗要』を元曉の著述として、また両本共に「(金剛三昧經)注四卷 僧遁述」とみられる「僧遁」が「遁倫」を指すか不明であるが、今後の課題として敢えて「遁倫」の著述として『(金剛三昧經)注四卷』を附設表に挙げることにする。

整理の結果、『大日本古文書-正倉院編年文書』(以下『古文書』)及び『義天録』以前の目録にみられない朝鮮僧16師の存在と、附設表で●印を附した初出の章疏107部が確認される。朝鮮僧への分類が問題となっている僧侶もいるがそれ等は今後明らかにすることとして、ともかく全体で978部の中では28師166部の著述が確認される。これも今後の検討課題ではあるが朝鮮僧らしき僧侶5師13部、そして著述に続き作者名の代りに亡名と記される35部を合すると214

部が朝鮮僧の著述となる。この978部の中に日本僧の著述みられない。

以上の整理の結果、『義天録』で問題となるところは、第一に『義天録』が25年間に亘って蒐集撰した完全なる蔵書録ではないのではないか、ということである。それは『義天録』に、例えば円測『成唯識論疏』について両本共に「疏二十卷或十卷 圓測述」というように「或○卷」とするところが朝鮮僧の著述で14部もあるからである。附設表で「或○卷」とある場合は「或」以下の巻数を()内に入れ、更にアンダーラインを引いたが、これが蔵書録ならばこのような記録は殆どないものと考えられる。

第二として、『義天録』が義天以前の朝鮮章疏を全て網羅したものではないということである。義天以前の均如(923-973年)の著述が収録されていないことは既に指摘されているが、それ以外にも収録に取捨選択が行われていたと考えられる。

第三として、取捨選択とは別に、義天代までに既に作者不明になっていた著述が多くあったということである。亡名35部の著述の存在、そして数部ではあるが作者名無記の存在がその可能性を物語る。

三、『東域伝灯目録』にみられる朝鮮章疏

『東域伝灯目録』(以下『東域録』)は、法相宗の永超(1014-95年)が1094年に撰述したものである。朝鮮章疏の整理に当たっては鎌倉初期高山寺蔵本を底本として大谷大学蔵写本を対校させた大正蔵収録本に、今一度高山寺所蔵本『高山寺本東域伝灯目録』^{*3}を対照させた。尚、両本ともに書名の省略がみられるため、附設表では省略部分は()内に補うこととした。整理の結果、両本に巻数の相違が

1-法位『無量寿経義疏』が大正蔵収録本では「(無量壽)經義疏二卷法位師撰」とあるが、高山寺所蔵本には「(無量壽)經義疏一卷法位師撰」

のようにみられる。また、書名の相違が

1-大正蔵収録本の「大方等如來藏經一卷圓光師」が高山寺所蔵本には「大方等如來藏經疏一卷圓光師」

2-「般舟三昧經略一卷元暉」が高山寺所蔵本には「般舟三昧經略記一卷元暉」

3-「(阿弥陀)經一卷元暉」が高山寺所蔵本には「(阿弥陀)經疏一卷元暉」

4-「(因明正理門)論鈔二卷道詮」が高山寺所蔵本には「(因明正理門)抄二卷道詮」

5-「(金剛般若經)贊一卷義寂撰」が高山寺所蔵本には「(金剛般若經)幽贊一卷義寂撰」

6-「大乘心鑑章二卷太賢内題云廣釋本母頌」が高山寺所蔵本には「大乘心略章三卷太賢内題云廣釋本母頌」

7-「(起信)古述記一卷太賢」が高山寺所蔵本には「(起信)論古述一卷太賢」

8-巻数と書名の双方であるが大正蔵収録本の「成宗論疏十卷百濟道藏元興五師」が高山寺所蔵

本では「成實論疏十六卷百濟道藏」

以上のようにみられる。これ等は然したる問題とはならないが、次の作者の相違は問題となるところである。

- 1-大正蔵収録本では『華嚴經綱目』は法蔵著述となっているが、高山寺所蔵本では「(華嚴經)疏十卷元曉師選」に続き「(華嚴經)綱目一卷上同」とあり元曉著述。
- 2-大正蔵収録本では『(法華經)綱要集』に続いて作者名が記されていないが、高山寺所蔵本では『(法華)經宗要』に続き「(法華經)綱要集二卷上同」とあり元曉著述。
- 3-大正蔵収録本にみられない『二障章』が高山寺所蔵本には「二障章一卷元曉」として元曉著述としての『二障章』がみられる。
- 4-大正蔵収録本では「(華嚴)一乘法界圖一卷法藏選可入上廿部等次」に続いて「南都本云私云唐義湘撰也稱浮石尊者者新羅人也圓宗文類第二十卷有法藏贈義湘書上」と続け、『華嚴一乘法界図』と『華嚴七処九會頌』を義湘著述とするが、高山寺収録本では「(華嚴)一乘法界圖一卷法藏選可入上廿部等次」に続けて「同七處九會頌一卷上同」とし『華嚴一乘法界図』と『華嚴七処九會頌』を法蔵著述とする。
- 5-二本共に『大般涅槃經料簡』を一書として別立てしていないが、「(大般涅槃經)述贊十四卷」に続く細注で「環興分本末爲二十八卷更料簡一卷」とあり環興著述としての『大般涅槃經料簡』に言及する。
- 6-大正蔵収録本では「(大般若)經籍目二卷外題云圓道證集」とあるが、高山寺所蔵本には「(大般若)經籍目二卷外題云圓」とあり道證の名はみられない。
- 7-大正蔵収録本では環興著述に続いて「(弥勒成仏)經古述三卷同上或云太賢可母」とあり、高山寺所蔵本にはその書名が別立てになっていない。
- 8-大正蔵収録本では『(成唯識)論決択』は極太の著述となっているが、高山寺所蔵本では「(成唯識)論古述五卷太賢」に続き「又造同論決擇一卷」とあり太賢著述とする。
- 9-大正蔵収録本では「(起信)論疏一卷苾丘大衍師古譯」として大衍の『起信論疏』は1部のみであるが、高山寺所蔵本には「(起信)論疏一卷苾丘大衍師古譯」に続き「(起信)論疏一卷大衍師新譯」とある。
- 10-大正蔵収録本では「大乘義章十六卷衍法師」とあり大衍著述としての『大乘義章』がみられるが、高山寺所蔵本にはみられない。

更に、両本共に次のように作者名に混乱がみられている。

- 1-道證・道証に関しては両本共に「道證」・「道証」を用い統一性がない。
- 2-道倫・遁倫の表記に関しては『新撰大乘義章』では両本とも「倫法師」となっている以外は大正蔵収録本は道倫・遁倫二つの表記を用い、高山寺所蔵本は「道倫」で統一している。

3-大正蔵収録本では「(弥勒成仏)經疏一卷愷法師」とあるが、高山寺所蔵本翻刻では「(弥勒成仏)經疏一卷愷法師」とある。影印では「愷法師」は「愷法師」とも読める。

4-大正蔵収録本では「因明論抄一卷愷」とあるが、高山寺所蔵本には「因明論抄一卷愷」とある。

大正蔵収録本の原本が鎌倉初期の高山寺所蔵本の写本であるとされるが、大正蔵収録本と高山寺所蔵本との間に以上のような相違がみられる。両本の相違により部数確定が困難であるが、1561部中で27師160部程度の朝鮮僧の著述が確認でき、これに不詳僧5名と新出僧玄隆の著述を合すると180部程度の著述が確認されることになる。

以上の整理の結果、問題となるところは、先述のように両本共に「云〇巻」や「或〇巻」とする記録や巻数不明の著述が、朝鮮僧の著述で不詳僧のものも合すると14部もみられることであり、主要寺院の蔵書を整理した総合目録でありながら重複収録書が多くみられることである。各寺院所蔵の章疏の比較に問題があったことが窺われる。

四、『注進法相宗章疏』にみられる朝鮮章疏

『注進法相宗章疏』(以下『蔵俊録』)は法相宗の蔵俊(1104-80年)が1176年に撰述したもので、大正蔵収録本には末尾に「安元二年(1176)十一月日 權律師蔵俊依院宣注進之」に続き大谷大学蔵写本によって「都合三百四十二部巻都千五百十九」と註している。朝鮮章疏の抽出には大正蔵収録本と収録本の註を勘案することとした。附設表では『蔵俊録』でも書名の省略がみられるため省略部分は()内に補った。大正蔵収録本とその註のみを用いたためか巻数の相違は、朝鮮章疏の場合「(成唯識)論文義記十巻或十三巻 神昉」とする一例、巻数無記が「(大般若)經略記口巻 遁倫撰」「(成唯識)論道口巻 極太撰」^{*4}二例、合して三例しかみられない。しかし、書名の相違が大正蔵収録本と註では

- 1-「(成唯識)論集十四巻 道證」が「(成唯識)論要集十四巻 道證」
- 2-「大乘義林章十二巻 義寂」が「大乘義林廣章十二巻 義寂」
- 3-「(梵網)經古迹二巻 太賢」が「(梵網)經古迹記二巻 太賢」
- 4-「(成唯識)論道口巻 極太撰」が「(成唯識)論道 極太撰」

以上のようにみられ、作者に関しても大正蔵収録本と註では

- 1-「(瑜伽)論三十六巻 環興撰」が「(瑜伽)論疏三十五巻 圓測」
- 2-「成唯識決三巻 勝庄」が「成唯識決三巻 勝莊」
- 3-「(大因明論)述記二巻 勝庄」が「(大因明論)述記二巻 勝莊」
- 4-「法花經論述記三巻 義寂釋義一撰」が「法花經論述記三巻 義一(=寂力)撰」
- 5-「(般若理趣分)經疏一卷 遁經撰」が「(般若理趣分)經疏一卷 遁倫」
- 6-「(金剛般若)經料簡三巻 環興撰」が「(金剛般若)經料簡三巻 環(=愷)興撰」

以上のような相違がみられる。作者の相違に関して若干附言すれば、4については貞慶の『法華開示抄』（大正蔵56-260c）に「又義寂師義一師同〇云々」とあり、今後の課題となることである。5は『般若理趣分経疏』を遁倫の著述とするのは謙順（1740-1812年）の『増補諸宗章疏録』（以下『増補録』）に「理趣分疏一卷遁倫述出俊録」とみられるだけである。6については『蔵俊録』の憬興表記の問題である。『蔵俊録』では憬興の著述12部の作者表記は「憬興」・「環興」・「景法師」と三表記あり統一されていない。

342部中で12師58部の朝鮮僧の著述が確認でき、これに不詳僧3師の9部を合すると67部の著述が確認される。『東域録』と通じるところがあるが蔵書目録のため収録部数は少ない。但し、『東域録』より時間が経過しての成立のため8部の新出章疏が確認できる。新羅僧で最も多く収録されるのは12部の憬興であり、その次が元曉8部、円測7部、義寂6部、大賢6部となっている。

五、『古聖教目録』にみられる朝鮮章疏

『古聖教目録』*5の作者は不明であるが、現行本は源信（1004-77年）を下限とし11世紀初頭から12世紀末葉までに書写されたものとされる*6。『中国・日本經典章疏目録』所収『古聖教目録』が影印文と翻刻文を収録しているため朝鮮諸師章疏の整理に当たっては影印と翻刻の対照を行った。整理の結果、書名の問題として

- 1- 「述記唯識本末卅卷 本 五百八十三 末 憬興撰」とある『唯識本末』が「唯識貶量二十卷 憬興」とある『唯識貶量』と巻数が同じであり異名同本の可能性がある。尚、『唯識本末』は『古聖教目録』だけにみられる。
- 2- 「无量壽觀經記 上中下 玄一」とある『无量壽觀經記』が玄一の著述として『蓮門類聚籍録』にみられる『觀無量壽經記』なのか『無量壽經記』なのか、または初出なのか不明。
- 3- 「无量壽 上中下 述義 義寂」とある『無量壽上中下』が続いて「无量壽經述記上中下寂集」と記録される『無量壽經述記』と同本なのか、『古文書』や『法相宗章疏』にみられる『無量壽經疏』と同本なのか不明。尚、『無量壽經述記』は初出。
- 4- 「常珎論疏 上中下古述 大賢撰」とある『常珎論疏上中下』は『掌珍論古述』の誤記と考えられる。大賢の『常珎論疏』は他の目録にみられない。

以上があり、作者の問題として

- 1- 「花嚴一乘法界圖一卷 十二枚」とあり作者名無記であるが義湘著述と思われる。
- 2- 「花嚴文義要決五卷 表圓撰」とあり、また作者名無記で「花嚴文義要決四卷」とある。「表圓」は「表員」と考えられる。
- 3- 道倫・遁倫の作者名が「瑜伽記卅四卷 千七百枚一中下 道備撰」、「大般若畧記一卷道輪」、「大般若釋目一卷道備撰」と混乱がみられる。

4-「花嚴孔目六卷 新譯 亦崇撰」とみられるが翻刻指摘のように「新羅 珍嵩撰」と思われる。

以上のように作者名無記の存在及び作者名に混乱がみられる。また『古聖教目録』の特色ともいえるが以下のような収録がみられる。

- 1-「唯識疏一卷 圓測」とあるが、『唯識論疏』の一部の可能性もある。但し、円測の著述としての1巻本の『唯識疏』は今までの目録にはみられなく初出。
- 2-「部執論疏一卷 圓測」とあるが、今までの目録にはみられなく初出。『古文書』には『部執異論疏』の書名がみられるが作者名無記。
- 3-「花嚴傳音義二卷 元曉」とあるが初出である。慧遠に『新訳華嚴音義』があるが元曉著述としての『花嚴伝音義』の存在は疑問。
- 4-「法花略記三卷 百六十
目 元曉」「法花略記二卷 元曉」「法花要略記一卷 元曉」とある。『法花略記』は初出の可能性もあるが、『法花略記』と『法花要略記』とは異名同本か不明。『古文書』には元曉著述としての『法花要略』がみられる。
- 5-「金剛般若義決 上下 元曉」「金剛般若指事一卷 元曉」「金光明最勝略疏 上中下 元曉」「金光明纂要一卷 元曉」は全て初出。
- 6-「瑜伽中實疏四卷 元曉」とあるが初出。本目録に「瑜伽中實四卷 元曉」とある『瑜伽中実』と同書か不明。尚、『瑜伽中実』も初出である。書名近似の元曉著述としては、『法相宗章疏』に『瑜伽論中実』、『東域録』に『(瑜伽)論疏中実』がみられる。
- 7-「中論疏六卷 元曉」は初出とみられるが、翻刻で指摘されるように、また『古文書』にも元康著述としての六巻本の『中論疏』がみられるため「元康」の著述と考えられる。
- 8-「肇論疏 上中下 元曉」とあるが初出。翻刻で指摘されるように、また『古文書』にも元康著述としての三巻本の『肇論疏』がみられるため「元康」の著述と考えられる。
- 9-「西方宗要一卷 元曉撰十四枚」とあるが初出である。元曉の著述としての『西方宗要』は『古文書』及び目録類にみられない。
- 10-憬興の著述としてみられる「述記唯識本末并卷 本 五百八十三 末 憬興撰」「金剛般若記 上下 憬興」「无量壽義記一卷 憬興」「无量壽經指示私記一卷 憬興 卅七枚」は初出。
- 11-「花嚴要決四卷 表円七十九枚」「花嚴文義抄四卷 表円師撰」とあるが、前述のように「表円」は「表員」と考えられる。表員著述としての『花嚴文義抄』は初出。
- 12-前述のように「无量壽經述記上中下 寂集」と記録される義寂著述としての『无量壽經述記』は初出。

以上のように初出の可能性のある著述がみられる。全てが初出とはいえないが、附設表では初出の可能性もあるが前出の異名同本の可能性のある著述には▲印を附し、問題となる著述は〈 〉内に入れた。また巻数が異なるが、同じ作者の同一書と考えられるものが収録されてい

る。同一書と考えられる著述は附設表では網掛けで塗りつぶした。同一書の収録と考えられるものは朝鮮章疏で14部、不詳僧の著述を合すると15部もみられる。

しかし、「云〇卷」または「或〇卷」とする記述が、「蘇悉地經 上中下 或五卷」とする一例しかみられないこと、そして同じ作者の巻数(枚数)が異なるまたは同巻数の著述、初出本または誤写による新出書名を多く収録していることが却って『古聖教目録』が蔵書目録であったことを物語る。『古聖教目録』には1244部中で20師112部の朝鮮僧の著述が収録されていることになる。勿論、同一書や誤記などによる不確定書があるため正確な部数を挙げることは困難である。多くの初出本があるもののそれらが全て散逸しているため、初出本なのか誤写による新出書名なのか、または異名同本なのかも確認できない。

六、『大小乗經律論疏記目録』にみられる朝鮮章疏

『大小乗經律論疏記目録』^{*7}(以下『大小目録』)の成立は不明であるが現行本の書写年代は平安時代前期(遅くとも中期)とされる^{*8}。未だ原本を手にする機会がないため翻刻に依拠して朝鮮章疏を整理した。収録の朝鮮章疏の問題点として以下のことを指摘することができる。先ず、書名に関しては

- 1- 「楞伽經(疏)一部七卷 元曉 三百八十紙」とあるが、翻刻では「疏」字が入るのではないかとする。
- 2- 「顯揚正教論疏十卷 智仁師撰 六百八十九紙」とある。これは巻数が同じことから『注進法相宗章疏』にみられる『(顯揚)論疏』と同本と考えられる。

以上の二例しか指摘できず、また作者の問題も

- 1- 「樞要記二卷 達 六十紙」とある『樞要記』が高山寺所蔵本『東域録』にも「(唯識樞要)記二卷達」とある。新羅行達の著述の可能性がある。
- 2- 「十一面經疏一卷 道備 三十紙」として道倫・遁倫の名前の表記を「道備」とする。

以上を指摘するに過ぎない。しかし、『大小目録』の大きな問題は以下に挙げるように初出の著述が多いことである。朝鮮章疏に限っても

- 1- 「瑜伽抄六卷 義榮 二百九十一紙」とあるが義榮著述としての『瑜伽抄』は今までの目録では初出。
- 2- 「成唯識論疏抄二卷 測 八十紙」とあるが円測著述としての『成唯識論疏抄』は初出。『成唯識論疏』に関しては「成唯識論疏十卷 測 五百六十紙」とあり、紙数的に『成唯識論疏』の一部とも考えられるが確証はない。
- 3- 「大惠度經疏一卷 元曉 十四紙」とあるが元曉著述としての『大惠度經疏』は初出。
- 4- 「法花經要略一卷 元曉師撰 一十四紙」とある。元曉著述としての『法花經要略』は『古文書』にみられるが目録では初出。

- 5- 「彌勒經序一卷 元曉 冊九紙」とあるが元曉著述としての『彌勒經序』は初出。
- 6- 「金剛三昧經記疏三卷 元曉師 百十五紙」とあるが元曉著述としての『金剛三昧經記疏』は初出。『大小目録』に元曉著述としての『金剛三昧經論』がみられないこともあり異名同本の可能性がある。
- 7- 「對法論疏五卷 曉師 二百五十紙」とあるが元曉著述としての『對法論疏』は初出。
- 8- 「大乘起信論記義二卷 元曉師 六十七紙」とあるが元曉著述としての『大乘起信論記義』は初出。
- 9- 「佛性義章一卷 元曉 卅」とあるが元曉著述としての『佛性義章』は初出。
- 10- 「經論中諸義誠文一卷 元曉 卅一」とあるが元曉著述としての『經論中諸義誠文』は初出。
- 11- 「金光明疏一部七卷 興師」とあるが憬興著述としての『金光明經疏』は初出。憬興の金光明經關係の著述と異名同本の可能性がある。
- 12- 「彌勒經古述三卷 憬興 百六十一紙」とあるが憬興著述としての『彌勒經古述』は初出。
- 13- 「(唯識) 樞要記二卷 興師 五十八紙」とあるが憬興著述として『(唯識) 樞要記』は初出。『増補録』にはみられる。
- 14- 「法相要覽一部四卷 憬興 百卅」とあるが憬興著述としての『法相要覽』は初出。
- 15- 「大少雜義問答三卷 靈因 九十六」とあるが靈因著述としての『大少雜義問答』は初出。
- 16- 「(唯識) 樞要記節二卷 玄一 七十一紙」とあるが玄一著述としての『唯識樞要記節』は初出。『増補録』には玄一著述としての『唯識樞要私記』がみられる。
- 17- 「無量壽經述義三卷 寂師 百八十一紙」とあるが義寂著述としては初出。但し、『古聖教目録』にみられる『無量壽經述記』と同本の可能性あり。
- 18- 「成唯識論別抄六卷 二部 寂 三百卅紙」とあるが義寂著述としての『成唯識論別抄』は初出。
- 19- 「瑜伽論疏一部卅四卷 道倫 八百卅紙」とあり、『瑜伽論記』に関して「瑜伽論記一部二帙卅四卷 道倫 八百九十紙」とある。道倫著述としての『瑜伽論疏』は初出。
- 20- 「涅槃聊簡一卷 太賢師 冊五紙」とあるが大賢著述としては初出。尚、『大小目録』での大賢表記は「大賢」「太賢」と二表記あり統一されていない。
- 21- 「對法論古述四卷 賢 百六十九紙」とある。大賢の著述としては『仏典疏鈔目録』にみられるがこれまでの目録では初出。
- 22- 「百法疏一卷 太賢」とあるが大賢著述としての『百法疏』は初出。『増補録』には大賢著述としての『百法古述』がみられる。
- 23- 「義集一卷 大賢 卅」とあるが大賢著述としての『義集』は初出。

24- 「因明入正理論學記一卷 大賢師 冊一」とあり、『因明入正理論記』に関しては「因明入正理論記一卷 大賢師 五十」、『因明入正理論古述記』に関しては「因明入正理論古述記一卷 大賢師 五十一」、『因明論古述』に関しては「因明論古述一卷 大賢師 冊五」とあり、全て紙数が異なる。よって『因明入正理論學記』も独自の著述で初出の可能性あり。

25- 「因明論鈔一卷 大賢 冊一」とあるが大賢著述としての『因明論鈔』は初出。

以上のように、同じ作者の同名異本の可能性もあるが新出書名がみられる。更に、作者名無記の著述が多く

1- 「一乘法界圖一卷 五十」は作者名無記であるが義湘著述と推定できる。しかし「一乘法界圖一卷 十五」の収録もあり、これが義湘の『一乘法界圖』の一部分かは不明。

2- 「海印三昧論一卷 十」と「海印三昧論一卷」との収録があり、明皇の『海印三昧論』の可能性もある。

3- 「六十二見章一卷 二十六」が円測著述の可能性もある。

4- 「二障章一卷 卅」「二障義一卷 卅八」が元曉著述の可能性もある。更に「十門和靜論二卷 五十」「寶性論料簡一卷 卅」「大慧度經宗要一卷 卅」も元曉著述と推定できる。

5- 「遊心安樂道一卷 卅八」とあり作者名無記である。元曉に仮託された『遊心安樂道』であるが、目録類初出が本目録と考えられる。

6- 「大乘起信論同異略集一卷 六十一紙」とあり作者名無記である。『大乘起信論同異略集』の作者に関しては議論の分かれるところであるが⁴⁹、目録類では初出。

これ等の他にも、作者名無記の著述が実に多く、朝鮮章疏も増える可能性が大である。

以上のように734部中22師120部程の朝鮮章疏が確認でき、また不詳僧の4師16部を合すると26師130部ら140部程の章疏となる。勿論、作者名無記の著述、異名同本の存在等があるため正確な部数を挙げることは困難である。また『大小目録』に初出の著述が多くみられるが、若干の例外を除き、それ等の殆どが散逸しているため初出本なのか誤写による異名同本なのか確認できない。

七、『高山寺聖教目録』にみられる朝鮮章疏

『高山寺聖教目録』の整理は高山寺蔵本を原本とし仁和寺蔵本と大谷大学蔵本を参考本とした昭和法宝総目録収録本（以下法宝収録本）^{*10}に、今一度高山寺所蔵本『高山寺聖教目録』^{*11}を対照させた。尚、両本ともに書名の省略がみられるため、附設表では省略部分は（ ）内に補うこととした。作者名及び書名の問題として

1- 両本とも作者名無記のものが多く、作者名が記されていても法宝収録本では確認できないが高山寺所蔵本により作者名が朱書きであることが確認できる。作者名は後代加筆の可能性もある。

2-両本共に義想著述として『一乘法界図章』が収録されている。「義想」は「義湘」、『一乘法界図章』は『一乘法界図』と考えられる。

3-両本共に「憬興」を「瓊興」として統一する。

4-法宝収録本では「(梵網)經疏二卷^{勝應}」とあるが高山寺所蔵本では「(梵網)經疏二卷^{勝庄造}」と朱書きで「勝庄造」とある。勝荘の『梵網經疏』と考えられる。

5-元曉の『宝性論料簡』が高山寺所蔵本では「寶性論斷簡一卷」とある。

6-両本共に作者名無記であるが「華嚴要決問答四卷」に続き「或文義」とある。表員の『華嚴經文義要決問答』と考えられる。

以上のことが指摘でき、また初出か誤記か不明であるが次のような収録がみられる。

1-両本共に「上生經略贊二卷 圓測」とあるが円測著述としての『上生經略贊』は初出。

2-法宝収録本では「大乘六情懺悔一卷元曉^{元曉造}」高山寺所蔵本では「大乘六情懺悔一卷」とある。元曉の『大乘六情懺悔』は初出で現存している。

3-法宝収録本では「(遺教)論住法記一卷元曉^{元照造}」とあるが高山寺所蔵本では「(遺教)論住法記一卷」として朱書きで「元照造」とある。元曉著述としての『遺教論住法記』は他の目録類では確認できず初出。

4-『大小目録』に作者名無記で『遊心安樂道』が収録されていたが、法宝収録本には「遊心安樂道一卷元曉^{元曉造}」高山寺所蔵本には「遊心安樂道一卷」として『遊心安樂道』の作者として元曉の名が記される。

5-法宝収録本では「一乘成佛妙義一卷新羅見登^{新羅見登造}」高山寺所蔵本では「一乘成佛妙義一卷」とある。見登の『一乘成仏妙義』は初出。

6-法宝収録本では「(一乘法界)圖記一卷珍嵩^{珍嵩造}」高山寺所蔵本では「(一乘法界)圖記一卷」とある。珍(珍)嵩の『一乘法界図記』は初出。

7-法宝収録本では「香象大師傳二卷致遠^{致遠造}」高山寺所蔵本では「香象大師傳二卷」とある。崔致遠の『香象大師傳』は初出。

8-作者名無記であるが両本共に『義天録』、法宝収録本に『新編諸宗教蔵総録』が収録されている。『義天録』『新編諸宗教蔵総録』は初出。

特に4・5の初出と作者名朱書きの時期が問題となる。作者名無記の著述が多いことから目録編纂時に既に作者不明の著述が多く存在していたことが考えられる。朝鮮諸師15師41部の著述が確認されるが、同一書や誤記などによる新出書名・不確定書の存在及び前述のように作者名無記の著述が多いため、正確な部数を挙げることは困難である。

八、小結

『韓仏題辞典』の問題点として、大正蔵及び大日本仏教全書の目録類に依拠しているため間

違いをそのまま踏襲していること、『古文書』に戻らずに『古文書』を整理した石田茂作博士『写経より見たる奈良朝仏教の研究』附設「奈良朝現在一切経疏目録」*12を依拠としたこと等が挙げられる。しかし、朝鮮諸師章疏の整理に際し編集当時に韓国国外の資料に着目したことは評価すべきことである。実際に義天以前に著述を著した新羅・高麗僧は45名を数えその著述は364部であるが、義天録に収録される新羅・高麗僧は27名、著述は162部のみである。義天録に収録されていない17名中、法融・均如・義通の3名は朝鮮資料及び著述の存在によって確認されるが、中国資料で確認される慧超・順之・大悲の3名以外の11名は、日本の目録類で新羅・青丘・高麗が冠されていたことによって新羅・高麗僧と知られるのである。著述も日本の目録によって知られたものは多く、先行研究はあるが『韓仏題辞典』に収録されていない玄隆とその著述は、『東域録』に収録され凝然等に重用された著述である。朝鮮仏教史研究に際して日本仏教研究に着目することは重要なことである。

目録整理による問題点としては、各目録にだけみられる初出の著述の存在である。それ等が散逸しているため実際に初出なのか異名同本かは確認することができない。書名表記に目録間の連絡がないことも混乱さに拍車を掛けている状態である。本研究は冒頭で述べたように「十二世紀末までの日本仏教に於ける新羅・高麗仏教の影響に関する研究」の謂わば準備研究であるが、十二世紀末までの目録整理をする際には十二世紀以降の目録をも全て整理する必要があること、そして目録研究は目録内で終結する研究ではないことを痛感する結果となった。鎌倉以降の目録整理を行った上で今一度報告を行いたい。

尚、本研究は平成十八～十九年度科学研究費補助金基盤研究(C)「十二世紀末までの日本各宗にみられる新羅・高麗仏教に対する認識に関する研究」(課題番号一八五二〇〇四五)による研究成果の一部である。

*1 『韓国仏書解題辞典』(東国大学校仏教文化研究所、国書刊行会、1982年)

*2 『高山寺古典籍纂集』(高山寺資料叢書第十七冊、東京大学出版会、1988年)所収。

*3 『高山寺本東域伝燈目録』(高山寺資料叢書第十九冊、東京大学出版会、1999年)

*4 「(大般若)経略記口巻 通倫撰」については大谷大学蔵写本を用いた註では「巻」字がないとし、「(成唯識)論道口巻 極太撰」については「口巻」字がないとする。

*5 『古聖教目録』(『中国・日本経典章疏目録』七寺古逸経典研究叢書第六巻、大東出版社、1998年、所収)

*6 落合俊典氏「『古聖教目録』(擬題)解題」(『中国・日本経典章疏目録』七寺古逸経典研究叢書第六巻、大東出版社、1998年)

*7 『大小乗経律論疏記目録』(『中国・日本経典章疏目録』七寺古逸経典研究叢書第六巻、大東出版社、1998年、所収)

- *8尾浦晋「法金剛院蔵『大小乗経律論疏記目録』について」（『中国・日本経典章疏目録』七寺古逸経典研究叢書第六巻、大東出版社、1998年）
- *9望月信亨『大乘起信論之研究』（金尾文淵童、1935年。259-262頁）、崔鉉植「『大乘起信論同異略集』の著者について」（駒沢短期大学『仏教論集』7、2001年）「新羅見登の著述と思想傾向」（『韓国史研究』105、韓国、2001年）
- *10『高山寺聖教目録』（『昭和法宝総目録』第3巻所収）
- *11『高山寺聖教目録』（『高山寺経蔵古目録』高山寺資料叢書第十四、東京大学出版会、1985年）
- *12石田茂作『写経より見たる奈良朝仏教の研究』（東洋文庫、1930年）

【キーワード】

朝鮮仏教 義天 永超 蔵俊 目録 高山寺

附設「十二世紀末までの目録類にみられる新羅・高麗諸師章疏」

署名	韓国仏書解題辞典	新編韓宗教書目録	東城伝灯目録	注進法相宗章疏	古聖教目録	大小乘経律論疏記目録	高山寺聖教目録
僧名							
【百濟僧】							
1(道蔵)	成実論疏16(10)巻		●成実論疏10(16)巻				
2(義采)	薬師本願経疏1巻 瓊伽論義林5巻		●(薬師本願)経疏1巻 ●(瓊伽)義林5(6)巻			●瓊伽抄8巻	
【新羅・高麗僧】							
1(円光)	大方等如来藏経疏1巻 如来藏経私記3巻		▲大方等如来藏経1巻			▲如来口経記1巻	
2 智明	四分律羯磨記1巻	●(四分律)羯磨記1巻					
3 慈蔵	阿弥陀経疏1巻 阿弥陀経義記1巻 四分律羯磨私記1巻 十誦律木叉記1巻 親行法1巻	●(四分律)羯磨私記1巻 ●(十誦律)木叉記1巻	●(阿弥陀)経疏1巻			阿弥陀経疏1巻	
4 円勝	梵網経記1巻 四分律羯磨記2巻 四分律木叉記1巻	●(梵網経)記1巻 ●(四分律)羯磨記2巻 ●(四分律)木叉記1巻					
5 円海	仁王般若経疏6巻 般若心経疏1巻 解深密経疏10巻 成唯識論疏20(10)巻 成唯識論別章3巻 百法論疏1巻 二十唯識論疏2巻 大因明論疏2巻 因明正理門論疏2巻 阿弥陀経疏1巻 無量寿経疏3巻 觀所緣縁論疏2巻 広百論疏10巻 六十二見章1巻 般若波羅蜜多心経賢1巻 無量義経疏3(2)巻 弥勒上生略贊2巻 俱舍論釈題抄3巻 瓊伽論疏(巻不明)	(仁王経)疏3巻 (般若心経)疏1巻 (解深密経)疏7巻 (成唯識論)疏20(10)巻 (成唯識論)別章3巻 (百法論)疏1巻	(仁王般若)疏3巻 (般若心経)疏1巻 (解深密経)疏10巻 (成唯識論)疏10巻 (百法論)疏1巻 (二十唯識論)疏2巻 (因明正理門論)疏2巻 ●(阿弥陀)経疏1巻 ●(無量義経)疏3巻 (觀所緣縁)論疏2巻 (広百論)疏10巻 六十二見章1巻	(仁王般若)経疏3巻 (般若心)経疏1巻 解深密経疏10巻 (成唯識論)疏10巻 (百法論)疏1巻 (二十唯識論)疏2巻 (大因明論)疏2巻	唯識論疏10巻 唯識論疏10巻 ▲唯識疏1巻 唯識略要疏10巻 仁王経疏・上中下 般若心経疏1巻 念斯般若珠・上中下 解深密経疏10巻 解深密経疏10巻 ●部論疏10巻 正理門論疏・上下 百法論疏1巻 因明論疏・上下	仁王経抄3巻 心経疏1巻 口探密経疏10巻 成唯識論疏10巻 ●成唯識論疏抄2巻 二十唯識論疏1巻 百法論疏1巻 百法論疏2巻 (六十二見章1巻)	●上生経略贊2巻
6(神叻)	十輪経抄3(2)巻 十輪経疏3巻 十輪経疏3巻 十輪経音義1巻 成唯識論要集13(10)巻 顯唯識論集記1巻 權性差別集3巻 顯正理論述文記序1篇 大興大集地蔵十輪経序1篇		(十輪)経抄3巻 (成唯識論)要集10(13)巻 ●(顯唯識論)記1巻 權性差別集3巻 ●顯正理論述文記24巻	十輪経抄3巻 (成唯識論)論文義記10(13)巻	唯識論要集13巻	成唯識要集13巻	
7 元瑱	華嚴経疏10(8)巻 華嚴経宗要(巻不明) 華嚴経入法界品抄2巻	(華嚴経)疏10巻 (華嚴経)宗要(巻不明) 一遣章1巻	(華嚴)経疏10巻 (華嚴)経綱目1巻 (一遣章1巻)	不増不减経疏1巻 般舟三昧経略記1巻 (勝鬘)経疏3巻	花嚴疏10巻 花嚴疏12巻 ●花嚴比丘音義2巻	華嚴経疏10巻 ●大惠度経疏1巻 法花経要略1巻	(華嚴)経疏10巻 (起信)論疏2巻 (起信)論疏2巻

華嚴綱目1巻
一法章1巻
金剛般若經疏3(2)巻
般若心經疏1巻
大慧度經宗要1巻
法華經宗要1巻
法華經方便品科釋1巻
法華經要略1巻
法花略述1巻
金剛三昧經論3巻
大乘觀行1(3)巻
勝鬘經疏2(3)巻
無量壽經宗要1巻
無量壽經科釋(卷不明)
無量壽經私記1巻
阿彌陀經疏1巻
無量壽經疏1巻
涅槃經宗要1(2)巻
涅槃經疏5巻
般舟三昧經疏1巻
般舟三昧經略記1巻
弥勒上生經宗要1巻
弥勒上下生經疏3巻
維摩經宗要1巻
維摩經疏3巻
金光明經疏8巻
楞伽經疏7(8)巻
楞伽經科釋(卷不明)
楞伽經宗要1巻
解深密教疏3巻
不增不减經疏1巻
法華經宗要1巻
梵網經疏2巻
梵網經疏1巻
梵網經菩薩戒本私記2巻
菩薩戒本持犯要記1巻
菩薩瓔珞本業經疏3(2)巻
四分律羯磨疏4巻
大業六情微論1巻
兜心修行章1巻
六現觀慈喜禪心觀淨觀舍1巻
調伏我心論1巻
廣百論宗要1巻
廣百論攝要1巻
廣百論旨歸1巻
三論宗要1巻
中觀論宗要1巻
掌珍論宗要1巻
掌珍論科釋1巻
瑜伽抄5巻
瑜伽論中興4巻
成唯識論宗要1巻
梁攝論疏抄4巻
攝大乘論世親略疏4巻
攝大乘論疏4巻
中辺分別論疏4(3)巻
弁中辺論疏4巻
雜集論疏5巻
宝性論宗要1巻
宝性論科釋1巻
因明論疏1巻
判比量論1巻

(金剛般若經)疏3巻
(般若心經)疏1巻
大乘觀行1巻
涅槃經宗要2(1)巻
(法華經)宗要1巻
●(法華經)綱要集1巻
●(法華經)方便品科釋1巻
(楞伽經)疏7巻
(楞伽經)宗要1巻
(維摩經)宗要1巻
(金光明經)疏8巻
(金剛三昧經)論8巻
(勝鬘經)疏2巻
不增不减經疏1巻
般舟三昧經疏1巻
(解深密經)疏3巻
●(大無量壽經)疏1巻
(小阿彌陀經)疏1巻
(弥勒上生經)宗要1巻
●法華經疏1巻
(梵網經)疏2巻
●(梵網經)略疏1巻
●(梵網經)持犯1巻
瓔珞本業經疏3巻
(大乘起信論)疏2巻
(大乘起信論)宗要1巻
(大乘起信論)別記1巻
(大乘起信論)大紀1巻
(大乘起信論)科釋1巻
●(成唯識論)宗要1巻
(因明論)疏1巻
判比量論1巻
世親觀察論略記4巻
(中辺論)疏4巻
●(掌珍論)宗要1巻
●(廣百論)宗要1巻
三論宗要1巻
十門和靜論巻
二諦章1巻
●調伏我心論1巻
●安身事心論1巻
●求道警喻論1巻
●初章1巻

(金剛般若經)疏2巻
大慧度經宗要1巻
大慧度經宗要1巻
(法華)經宗要1巻
●(法華經)綱要集1巻
般舟三昧經疏1巻
無量壽經宗要1巻
(阿彌陀)經1巻
(維摩)宗要1巻
(勝鬘)疏2巻
(弥勒上下)宗要1巻
金剛三昧經疏3巻
本業瓔珞經疏2巻
不增不减經疏1巻
(入楞伽)經疏7巻
(入楞伽)宗要論1巻
(解深密)疏3巻
(金鼓)經疏8巻
(般舟)經疏2巻
●(梵網)經宗要1巻
●(梵網)持犯要記1(2)巻
(攝大乘)論疏4巻
▲(瑜伽)論疏中興4巻
中辺分別論疏4巻
宝性論科釋1巻
(起信)論疏2巻
(起信)別記1巻
(掌珍)科釋1巻
(廣百)論旨歸1巻
(廣百)論攝要1巻
(三論)宗要1巻
(因明入正理)論記1巻
判比量論1巻

(解深密)經疏3巻
起信論疏2巻
(起信)論別記1巻
(因明入正理)論記1巻
判比量論1巻

法花疏3巻
●法花略記3巻
●法花略記2巻
▲法花要略記1巻
涅槃宗要1巻
涅槃宗要1巻
唯(77)摩宗要1巻
▲瑜伽中興4巻
▲瑜伽中興疏4巻
金剛般若疏・上中下
●金剛般若疏決・上下
●金剛般若指事1巻
金光明疏8巻
金光明疏3巻
金鼓經疏5巻
●金光明最勝略疏・上中下
●金光明纂要1巻
楞伽宗要1巻
楞伽宗要1巻
楞伽疏7巻
勝鬘疏・上下
勝鬘疏1巻
梵網戒本私記・上下
梵網疏・上下
菩薩持犯要記1巻
解深密經疏・上中下
勝鬘經疏2巻
不增不减經疏1巻
本業瓔珞經疏・上下
本業經疏・上下
●中論疏8巻
中辺分別論疏4巻
瑜伽論疏・4巻
●樂論疏・上中下
起信論疏・上下
起信論疏1巻
起信論疏私記・上下
掌珍論科釋1巻
無量壽宗要1巻
●西方宗要1巻

金光明疏3巻
勝鬘疏3巻
楞伽經宗要2巻
楞伽經7巻
法花宗要1巻
阿彌陀經疏1巻
阿彌陀經疏1巻
●弥勒經序1巻
▲金剛三昧經疏3巻
涅槃宗要1巻
梵網經上巻疏1巻
梵網經私記1巻
●金剛般若疏決・上下
●金剛般若指事1巻
金光明疏8巻
金光明疏3巻
金鼓經疏5巻
●金光明最勝略疏・上中下
●金光明纂要1巻
楞伽宗要1巻
楞伽宗要1巻
楞伽疏7巻
勝鬘疏・上下
勝鬘疏1巻
梵網戒本私記・上下
梵網疏・上下
菩薩持犯要記1巻
解深密經疏・上中下
勝鬘經疏2巻
不增不减經疏1巻
本業瓔珞經疏・上下
本業經疏・上下
●中論疏8巻
中辺分別論疏4巻
瑜伽論疏・4巻
●樂論疏・上中下
起信論疏・上下
起信論疏1巻
起信論疏私記・上下
掌珍論科釋1巻
無量壽宗要1巻
●西方宗要1巻

(起信)論別記1巻
(起信)論別記2巻
十門和靜論2巻
●大乘六情微論1巻
楞伽經宗要1巻
法花經宗要1巻
宝性論科釋1巻
上生經宗要1巻
●(遺教)論住法記1巻
持犯要記1本
(持犯要記1巻)
判比量論1巻
三論宗要1巻
(雙觀)經宗要1巻
阿彌陀經疏1巻
遊心安樂道1巻

	<p>因明入正理論記1巻 大業起信論疏2巻 起信論別記(2)巻 大業起信論宗要1巻 大業起信論科簡1巻 大業起信論大記1巻 大業起信論私記1巻 起信論一進章1巻 二論義(二進章)1巻 初章原文1巻 二論章1巻 十門和靜論2巻 遊心安樂道1巻 安身事心論1巻 求道聲喻論1巻 清淨穢法空有淨論1巻 成実論疏16巻 阿弥陀經通讀疏2巻 無量壽經宗要1巻 証性歌・無碍歌</p>						
8 義洞	<p>華嚴十門看法觀1巻 一乘法界圖1巻 入法界品鈔記1巻 阿弥陀經義記1巻 白花蓮場兜願文1篇 雜般講文(卷不明)</p>	<p>●十門看法觀1巻 法界圖1巻 ●入法界品鈔記1巻 ●(小阿弥陀經)義記1巻</p>	<p>(華嚴經一乘法界圖1巻) ●(華嚴經七如九會頌1巻)</p>	<p>花嚴一乘法界圖1巻</p>	<p>(一乘法界圖1巻) (一乘法界圖1巻)</p>	<p>▲一乘法界圖章1巻</p>	
9 (法位)	<p>無量壽經(義)疏2巻</p>		<p>(無量壽)經疏疏2巻 (無量壽)義疏2巻</p>		<p>無量壽經義疏2巻</p>	<p>(双親)經疏2巻</p>	
10 傳興	<p>法華經疏16(8)巻 涅槃經疏14(7)巻 涅槃經述贊14(28)巻 涅槃經科簡1巻 金剛般若經科簡3巻 無量壽經進義述文贊3巻 無量壽經疏3巻 觀無量壽經疏2巻 阿弥陀經略記1巻 大業經疏5(4)巻 業師經疏1巻 瓊頂經疏2巻 三寶勸經疏1巻 弥勒經疏3巻 弥勒經述贊3巻 弥勒經述贊述文4巻 無垢稱經疏6巻 金光明經略章1巻 金光明經述贊7巻 金光明最勝王經略贊5巻 最勝王經疏10(5)巻 解深密經疏3巻 十二門陀羅尼經疏1巻 四分律羯磨記1巻 四分律捨尼尼要3巻 俱舍論鈔3(4)巻 瓊伽論疏10巻 瓊伽論鈔36巻 瓊伽論記36巻 成唯識記2巻 成唯識論略量25(30・20)巻 成唯識要記2巻</p>	<p>(法華經)疏16(8)巻 (涅槃經)疏14(7)巻 (金光明經)述贊7巻 ●(金光明經)略章1巻 弥勒經述贊3巻 ●(弥勒經)述義述文4巻 ●(業師經)疏1巻 ●捨尼尼要3巻 ●(大業起信論)問答1巻 (成唯識論)略量25巻 (瓊伽論)疏10巻 ▲(俱舍論)鈔3巻 ●(四分律)羯磨記1巻</p>	<p>(法華經)疏8巻 (大般涅槃經)述贊14(28)巻 ●大般涅槃經科簡1巻 ●大業經疏5(4・5・16)巻 ●(無量壽)經述贊3(2)巻 ・(進義述文贊) ●(弥勒成仏)經疏3巻 ●(阿弥陀)略記1巻 (弥勒成仏)經述贊3巻 (弥勒成仏)經疏1巻 (瓊頂)經疏2巻 十二門陀羅尼經疏1巻 (解深密)經疏(卷不明) 最勝王經略贊5巻 ●(瓊伽)取論記36巻 瓊伽論疏3(16)巻 (成唯識)論略量25(30)巻 ●(成唯識)記2巻 ●(成唯識)記2巻 ●(因明正理門)論義鈔1巻 ●(法苑)記4巻</p>	<p>涅槃經述贊14巻 ●(金剛般若)經科簡3巻 ●無量壽經疏3巻 三弥勒經贊3巻 (最勝王)經略贊5巻 瓊伽論疏8巻 ▲(瓊伽)論鈔36巻 (成唯識)論略量25巻 (大因明論)義鈔1巻 (成唯識)記2巻 ●(大乘法苑林章)記4巻</p>	<p>涅槃述讀1巻 ●唯識本末20巻 唯識略量30巻 瓊伽抄36巻 ●金剛般若記・上下 金光明最勝略贊5巻 金光明最勝述贊・上下 十二門陀羅尼經疏1巻 瓊伽論疏10巻 ●無量壽義記1巻 ●無量壽經指掌私記1巻</p>	<p>法花經疏8巻 最勝王經略贊7巻 最勝略量5巻 ▲金光明疏7巻 瓊頂經疏2巻 無量壽經進義述文贊3巻 無量壽經疏3巻 阿弥陀經略記1巻 弥勒經述贊3巻 ●弥勒經古述3巻 涅槃經28巻 涅槃經28巻 涅槃經1巻 涅槃述贊10巻 瓊伽抄36巻 瓊伽論疏8巻 瓊伽論略量30巻 ●(唯識)指掌記2巻 法苑林章記8巻 ●法相要覽4巻 因明正理門論義鈔1巻</p>	<p>金光明經贊疏5巻 (上生經)述贊第一 (双親)經進義述文贊3巻</p>

11(智仁)	<p>顯唯識記2卷 顯攝論疏8(10・4)卷 顯攝論述贊10(4・10)卷 因明論義鈔1卷 大乘起信論問答1卷 法苑義林記4卷 法鏡論1卷 弥勒成仏経古迹3卷</p> <p>四分律六卷抄記10卷 仏地論疏4卷 顯攝論疏10卷 雜集論疏5卷 十一面經疏1卷</p>		<p>(四分律)六卷抄記10卷 (仏地經)論疏4卷 ●(雜集)論疏5卷</p>	<p>(仏地)論疏4卷 (顯攝)論疏10卷</p>	<p>●楞伽疏10卷 仏地論4卷</p>	<p>顯攝正義論疏10卷</p>
12 靈因(令因・令印・靈因)	<p>無量壽經疏1卷 俱舍論鈔3(2)卷 解深密經疏11卷</p>	<p>(俱舍論)鈔2卷</p>	<p>●(無量壽)經疏1卷 (俱舍)論鈔3卷 解深密經疏11(12)卷</p>	<p>解深密經疏10卷</p>	<p>●大少雜義問答3卷</p>	
13(行遠)	<p>瑜伽論科簡1卷 唯識概要記2卷</p>		<p>●(瑜伽)論科簡1卷 ●(唯識概要)記2卷</p>	<p>▲(瑜伽)論科簡1卷 ●(瑜伽)記1卷</p>	<p>瑜伽科簡1卷 (唯識)概要記2卷</p>	
14 順傳	<p>法華經科簡1卷 成唯識論科簡1卷 因明入正理論抄1卷 大毘婆沙心論抄10卷</p>	<p>●(法華經)科簡1卷</p>	<p>(成唯識)論科簡1卷 因明論抄1卷</p>	<p>(成唯識)論科簡1卷 (因明入正理)論抄1卷</p>	<p>●法花音義2卷</p>	
15 道詮・道証	<p>般若理趣分経疏1卷 大般若経釋目2卷 金剛般若経疏1卷 成唯識論要集14卷 成唯識論綱要13卷 楞大衆論世親訳論疏16(8)卷 弁中辺論疏3卷 因明入正理論疏2卷 大因明論鈔2卷 大因明論疏2卷 聖教略述章1卷 西方極樂要讚1卷 天台山智者大師別伝1卷</p>	<p>●(般若理趣分経)疏1卷 ●(成唯識論)綱要13卷 ●(楞大衆論)世親訳論疏16(8)卷</p>	<p>●(金剛般若経)疏1卷 (大般若)経釋目2卷 (大般若)釋目1卷 ●(弁中辺)論疏3卷 (成唯識)要集14卷 ●(因明正理門)論疏2卷 ●(因明入正理)論疏2卷 ●(因明正理門)論鈔2卷 ●(聖教略述章)1卷</p>	<p>(成唯識)論集14卷 ▲(大因明論)疏2卷 ▲(大因明論)抄2卷 (因明入正理)論疏2卷</p>	<p>唯識要集14卷</p>	<p>大般若経釋目1卷 大般若釋目1卷 ▲理趣分経1卷 弁中辺論疏3卷 唯識要集14卷 因明正理門論抄2卷</p>
16 勝莊	<p>梵網經普賢戒本述記4(3・2)卷 大因明論述記2卷 雜集論疏12卷 成唯識論決3卷 金光明最勝王經疏8卷 仏性論義1卷 起信論問答1卷</p>	<p>●(梵網經)述記3卷</p>	<p>(最勝王)経疏8卷 (梵網)經述記2卷 (因明正理門)論述記2卷 ●(雜集)論疏12卷 ●(成唯識論決)3卷</p>	<p>(雜集)論疏12卷 成唯識決3卷 (大因明論)述記2卷</p>	<p>金光明最勝疏8卷 ●金光明最勝述記2卷 梵網疏・上下 梵網疏・上下 梵網述記・上下</p>	<p>梵網経疏2卷 梵網経戒本述記1卷 雜集論疏10卷 成唯識論決3卷 唯識論決1卷</p>
17 玄一	<p>法華経疏8(10)卷 無量壽経記(疏)2(3)卷 觀無量壽経記1卷 阿弥陀経疏1卷 大涅槃経科簡1卷 梵網経疏3卷 瑜伽論疏17卷 唯識論私記1卷 中辺論科簡1卷 隨顯往生経記1卷</p>	<p>●(涅槃經)科簡1卷 (法華経)疏8卷 ●(小阿弥陀経)疏1卷 ●(瑜伽論)疏17卷 ●(中辺論)科簡1卷</p>	<p>●(無量壽)経記3卷 (阿弥陀)疏1卷 ●(梵網)経疏3卷 ●(唯識論)私記1卷</p>	<p>(唯識)私記1卷</p>	<p>▲無量壽観経記・上中下 ●亦無量壽経記・上中下 阿弥陀疏1卷</p>	<p>阿弥陀経疏1卷 梵網経疏3卷 ●(唯識)概要記前2卷</p>
18 智通	<p>華嚴要義問答(維河記)2卷 涅槃経釋什訳出十四音弁1卷</p>	<p>●(華嚴経)要義問答2卷</p>	<p>●(大般若經)経疏什訳出十四音弁1卷</p>			<p>▲(双観)経疏1卷</p>

19 悟真	因明論頌闡略鈔2(3)巻 成唯識論疏鈔3巻 法苑珠林集文鈔3巻	●(因明論)闡略鈔2巻 ●(唯識論)疏鈔3巻 ●(法苑珠林)集文鈔3巻					
20 道身	華嚴一乘問答(道身章)2巻	●(華嚴經)一乘問答2巻					
21 鏡寂	大般若經綱要1巻 大般若經由身1巻 般若理趣分疏由身1巻 金剛般若經集1巻 法華經疏證記2(2)巻 法華經綱目1巻 法華經科簡1巻 法華經疏記3巻 涅槃經綱目2(1)巻 涅槃經疏10巻 涅槃經疏記5巻 涅槃經云何偈1巻 無量壽經疏3巻 無量壽經述疏記3巻 觀無量壽經綱要1巻 觀無量壽經疏1巻 弥勒上生經科簡1巻 梵網經文記2巻 梵網經菩薩戒本疏3(2)巻 本業現存經疏2巻 成唯識論未詳決3(2)巻 百法論疏3巻 百法論注1巻 阿彌生論疏1巻 大乘觀林(広)章12巻	(涅槃經)綱目2(1)巻 ●(法華經)綱目1巻 (般若理趣分疏)由身1巻 ●(法苑珠林)綱要1巻 ●(弥勒上生經)科簡1巻 ●(梵網經)疏2巻 ●(百法論)疏3巻 ●(百法論)注1巻	●(金剛般若經)集1巻 (法苑珠林)科簡1巻 (法苑珠林)綱要1巻 (法苑珠林)疏記3巻 (無量壽)經疏3巻 ●(本業現存)疏2巻 (大般涅槃)經疏記5巻 (大般涅槃)經綱目1巻 ●(大般涅槃)經云何偈1巻 (梵網)經疏2巻 (梵網)經文記2巻 ●(法苑)論述記2巻 ●(成唯識)論未詳決3巻 阿彌生論疏1巻 大乘觀林章12巻 (大般若)經綱要1巻	●大般若經由身1巻 ●般若理趣分述集3巻 (梵網)經疏2巻 法花經論述記3巻 (成唯識)論未詳決3巻 大乘觀林章12巻	法花述記2巻 法花論記・上下 涅槃疏記5巻 涅槃綱目1巻 唯識未詳決・上下 ●楞伽疏・上下 梵網文記・上下 ●無量壽・上下 ●無量壽經述記・上中下	般若理趣分疏集2巻 法花經科簡1巻 法花論記1巻 ▲無量壽經疏3巻 涅槃疏記5巻 涅槃綱目1巻 梵網經文記2巻 成唯識論未詳決3巻 阿彌生論疏1巻 大乘觀林章12巻	(梵網)經疏2部4巻 ▲双親經述疏記3巻
22(表具)	華嚴經文義要決問答4(5)巻 華嚴經要義問答3巻				花嚴文義要決5巻 (花嚴文義要決4巻) 花嚴要決4巻 ●花嚴文義抄4巻	▲花嚴決要義4巻	(華嚴要決問答4巻)
23 明品	海印三昧論1巻	(華嚴經)海印三昧論1巻	海印三昧論1巻		花嚴海印三昧論1巻	(海印三昧論1巻) (海印三昧論1巻)	(華嚴)經海印三昧論1巻 (海印三昧論2巻)
24 道論・道論	法苑珠林3巻 維摩經科簡1巻 大般若經疏記2巻 大般若經疏1巻 般若理趣疏記1巻 金剛般若經略記1巻 金剛三昧經注4巻 勝鬘經疏2巻 阿彌陀經疏1巻 藥師經疏1巻 金光明經略記1巻 淨飯王經疏1巻 十一面經疏1巻 四分律決問2巻 新撰大乘觀章5巻 雜記9巻 成唯識論疏決2巻 瑜珈論記24(48)巻	●(法苑珠林)疏3巻 ●(維摩經)科簡1巻 ●(金光明經)略記1巻 ●(勝鬘經)疏2巻 ●(小阿彌陀經)疏1巻 ●(藥師經)疏1巻 ●(成唯識論)疏決2巻 ●(金剛三昧)注4巻 ▲(瑜珈論)疏24巻 雜記9巻	●(金剛般若)經略記1巻 ●(大智度)經略記2巻 ●(淨飯王經)疏1巻 (阿彌陀)經疏1巻 ●(十一面)經疏1巻 ●(藥師經)疏1巻 ●(成唯識論)疏決2巻 ●(瑜珈論)記24巻 ●新撰大乘觀章5巻	(大般若)經略記口巻 ●(般若理趣分)經疏1巻 (藥師)經疏1巻 (十一面)經疏1巻 (瑜珈)論記24巻	瑜珈記24巻 大般若略記1巻 ●大般若取目1巻	金剛般若略記1巻 藥師經疏1巻 十一面經疏1巻 瑜珈論記24巻 瑜珈論記24巻 口分律決問2巻 新撰大乘觀章5巻	
25 (總題)	往五天竺國傳3巻 大業唯金剛性海觀疏 利千寶千鉢大教王經序1巻 賢玉女壽祈雨表1巻						

26 不可思議

大菩薩道明經供養次第解説2巻

27 大賢

指掌經古述記10(5)巻
 般若理趣 經注2巻
 金剛般若古述記1巻
 金剛經義(新訂)古述記1巻
 仁王般若經古述記1巻
 般若心經古述記1(2)巻
 般若心經注2巻
 法華經古述記1巻
 無量壽經古述記1巻
 觀無量壽經古述記1巻
 阿弥陀經古述記1巻
 稱讚淨土經古述記1巻
 淨土總科簡1巻
 涅槃經古述記8(4・3・2)巻
 彌勒本願經古述記2(1)巻
 弥勒上生經古述記1巻
 弥勒下生經古述記1巻
 弥勒成佛經古述記1巻
 金光明經古述記1巻
 金光明經科簡1巻
 寶網經古述記3(2・4)巻
 寶網經菩薩戒本京要1巻
 瓊伽戒本京要1巻
 仏地論古述記1巻
 広百論古述記1巻
 摩訶論古述記1巻
 瓊伽論古述記4巻
 瓊伽論要3巻
 成唯識論古述記(10)5巻
 成唯識論決撰1巻
 広釈本母頌3巻
 唯識二十論古述記1巻
 現大衆論世親釈論古述記1巻
 現大衆論無性釈論古述記1巻
 中辺論古述記1巻
 弁中辺論古述記1巻
 唯識論古述記2巻
 唯識論古述記4巻
 菩薩摩訶理邊磨古述合集17巻
 成業論古述記1巻
 五種論古述記1巻
 百法論古述記1巻
 觀所緣論古述記1巻
 因明(入正理)論古述記1巻
 因明入正理論記1巻
 因明入正理論學記1巻
 因明正理門論古述記1巻
 起信論内義略探記(起信論古述記)1巻
 法苑珠林大衆心路章2巻
 法苑珠林名章2(1)巻
 大衆一味章1巻
 対法論古述記4巻
 菩薩經要決12(6)巻
 菩薩經真流還源要図1巻
 菩薩經開宗決撰30巻
 大衆起信論珠網3(4)巻
 大衆起信論拾葉取妙1巻

28 慈起

●(慈嚴經)古述記10(5)巻
 ●(涅槃經)古述記(4)巻
 ●(金光明經)古述記4巻
 ●(金光明經)科簡1巻
 ●(仁王經)古述記1巻
 ●(金剛般若經)古述記1巻
 ●(金剛般若經)古述記2巻
 ●(般若理趣分經)注2巻
 ●(般若心經)古述記1巻
 ●(觀無量壽經)古述記1巻
 ●(大無量壽經)古述記1巻
 ●(小阿弥陀經)古述記1巻
 ●(稱讚淨土經)古述記1巻
 ●(弥勒上生經)古述記1巻
 ●(弥勒下生經)古述記1巻
 ●(弥勒成佛經)古述記1巻
 ●(金光明經)古述記2巻
 ●(寶網經)京要1巻
 ●(大衆起信論)古述記1巻
 ●(成唯識論)古述記10巻
 ●(成唯識論)決撰1巻
 ●(因明論)古述記1巻
 ●(正理門論)古述記1巻
 ●(瓊伽論)古述記4巻
 ●(五種論)古述記1巻
 ●(瓊伽論)古述記(2)1巻
 ●(現大衆論)世親釈論古述記1巻
 ●(現大衆論)無性釈論古述記1巻
 ●(唯識論)古述記4巻
 ●(中辺論)古述記1巻
 ●(唯識二十論)古述記1巻
 ●(成業論)古述記1巻
 ●(弁中辺論)古述記1巻
 ●(唯識論)古述記1巻
 ●(広百論)古述記1巻
 ●(法苑珠林)名章2(1)巻
 ●(法苑珠林)大衆心路章2巻
 ●(広釈本母頌)3巻
 ●(大衆一味章)1巻
 ●(慈嚴經)古述記10(5)巻
 ●(法華經)古述記4巻
 ●(慈嚴經)開宗決撰30巻
 ●(慈嚴經)要決12(6)巻
 ●(菩薩經)真流還源要図1巻
 ●(大衆起信論)珠網3(4)巻
 ●(大衆起信論)拾葉取妙1巻

(弥勒成佛)經古述3巻
 (彌勒本願)經古述1巻
 (梵網)經古述2巻
 (梵網)論古述5巻
 ●(瑜伽)要撰3巻
 ●(雙蓮)論古述4巻
 ●(百法)論古述1巻
 ●(成唯識)論古述5巻
 ●(起信)古述記1巻
 ●(摩訶)論古述1巻
 ▲(因明入正理)古述1巻
 大衆心路章2(3)巻(広釈本母頌)
 ●香摩羅阿毘達磨古述合記17巻
 (成唯識)論決撰1巻

(涅槃)經古述記3巻
 (梵網)經古述2巻
 (成唯識)論古述5巻
 (成唯識)論決撰1巻
 (成唯識)論広釈本母頌3巻
 (因明入正理)古述1巻

梵網古述・上下
 梵網宗要1巻
 ▲香摩羅本宗要1巻
 ▲常珍論疏・上中下
 因明論古述・上下

高師經古述1巻
 ●涅槃初簡1巻
 梵網經古述2巻
 ●対法論古述4巻
 成唯識論古述4巻
 広釈本母頌3巻
 ●百法論1巻
 大衆一味章1巻
 ●寶集1巻
 因明入正理論記1巻
 因明入正理論古述記1巻
 ●因明入正理論學記1巻
 因明論古述1巻
 ●因明論抄1巻

(梵網)經古述1部3巻
 (梵網)經古述3巻
 香摩羅宗要1巻

十二世紀末までの日本各宗に於ける朝鮮仏教の影響について

29 大衍	起信論疏1巻 大乘起信論記(疏)1巻 大乘經章16巻 大方等如來藏經疏2巻		(起信)論疏1巻 (起信)論疏1巻 ●(起信)論記1巻 ●大乘經章16巻	大方等如來藏經疏・上下 起信論別起1巻	大乘經章10巻	
30(見登)	華嚴一乘成仏抄巻1巻 大鏡起信論同支章2巻 大乘起信論同支略集2巻		●(起信)論同支章2巻		●(大乘起信論同支略集1巻)	●一乘成仏抄巻1巻
31(月忠)	祝摩阿衍論10巻		●祝摩阿衍論10巻			
32(珍嵩)	一乘法界図記1巻 華嚴孔目記8巻		華嚴孔目記8巻	花嚴孔目8巻		●(一乘法界)図記1巻
33(鏡殿)	華嚴經教名章1巻	●(華嚴經)教名章1巻				
34(淨遠)	大毘婆沙論疏16(14)巻		(婆沙)論疏16巻	婆沙論疏14巻		
35(審祥)	華嚴起信頓行法門1巻					
36 可掃	華嚴經義綱1巻 心源章1巻	●(華嚴經)義綱1巻 心源章1巻				
37 端目	梵網經記2巻	●(梵網經)記2巻				
38 (順之)	現法偈表1篇 三通成仏圖1篇					
39 梵如	華嚴經要決6(3)巻	●(華嚴經)要決6(3)巻				
40 (大恩)	金剛般若經疏1巻					
41 [法藏]	法界図記(法融記)(巻不明)					
42 崔致遠	浮石尊者伝(巻不明) 唐大興禪寺故寺主師釋大深 法藏和尚伝1巻 その他傳文18篇存	●賢首伝1巻 ●浮石尊者伝1巻				●吾象大師伝2巻
43[均如]	祝摩殿教分記内通抄10巻 祝摩殿百師章内通抄2巻 華嚴三寶章内通記2巻 十句章内通記2巻 一乘法界図内通記7巻 授玄方軌記10巻 孔目章記8巻 五十五問答記4巻 授玄記訳3巻 入法界品抄記1巻 普賢十種願往生歌11首					
44 [義通]	觀經疏記(巻不明) 光明玄贊釈(巻不明) 光明句讀忘抄(巻不明)					
45 師範	天台四教儀2巻	●四教儀1巻				
46 赫連挺	大華嚴首座内通兩重大師 均如伝并序1巻					
47 鏡天	新羅諸宗教庭錄傳3巻 新羅内宗文顯22巻 (一部存) 祝路阿林250巻 (一部存)					●(鏡天)録2巻 ●(新羅諸宗教庭錄傳)2巻

48 元伝	大覚国師文集23巻 (一部存) 大覚国師外篇13巻 (一部存) 判定成唯識論草稿3巻 (一部存) 八師経直訳 精興経直訳 天台四教儀註3巻 法華勸修般若学1巻 阿弥陀経疏5巻 阿弥陀経科1巻	●(小阿弥陀经)抄5巻 ●科1巻				
【不詳僧】						
1 観智			●(大般涅槃)経科簡1巻		涅槃科簡1巻	涅槃経初簡1巻
2 恵景		▲(瑜伽論)疏20巻 ●(瑜伽論)文送1巻	(攝大乘)論疏口巻 (攝大乘)章3巻 (法印)論抄36(30)巻			
3 極太		●(涅槃經)義集7巻 ●(瑜伽論)羽足抄5巻 ●(大聖婆沙論)抄10巻 ●(順正理論)抄2巻	▲(瑜伽)羽足5巻 ●(成唯識)論譯摘要3巻 ●(成唯識)莊嚴抄7巻 ●(取唯識本母)類3巻 ●(成唯識)論決訳1巻)	▲(成唯識)論道口巻 (成唯識)論莊嚴抄10巻	●金光明疏1巻	成唯識論指要3巻 ●成唯識論科簡1巻
4 玄範		●(涅槃經)抄2巻 (法華經)疏7巻 (仁王經)疏4巻 ●(成唯識論)疏20巻 (雜集)疏16巻	(仁王般若)経疏2巻 (法華經)疏8巻 (無垢称)経疏6巻 解深密経疏10巻 (弁中辺)論疏3巻 (雜集)論疏14巻 (因明正理門)論疏2巻 (因明入正理)論疏1巻 (攝大乘)論疏7(10)巻	(妙法蓮華)経疏8巻 ▲(金剛般若)経疏2巻 (雜集)論疏10巻 ▲(大因明論)疏1巻 (因明入正理)論疏1巻	法華疏8巻 仁王経疏・上下 金剛述異・上中下 能断般若疏・上下 無垢称経疏6巻 解深密経疏10巻 攝大乘論疏10巻 攝大乘論疏7巻 対法論疏10巻 入正理論疏1巻 因明論疏1巻	能断金剛般若疏2巻 仁王経疏2巻 法花経疏8巻 無性攝論疏5巻 雜集論疏5巻 雜集論疏12巻 弁中辺論疏3巻 ●弁中辺論述記3巻 因明正門論抄1巻 ▲理門論記1巻
5 神躬		▲(攝大乘論)無性釈論疏14巻	(攝大乘)論疏11巻 ●(攝大乘)章3巻 (觀所緣縁)論疏1巻	(攝大乘)論章5巻 (攝大乘)論疏11巻	▲攝大乘譯疏10巻	攝論疏11巻 攝論章3巻 觀所緣縁論疏1巻
6 恵登		●(法華經)科簡1巻 亡名35部			●法花四華嚴2巻	
【所出僧】						
1 玄隆			●幼観1巻			
2 從程		●(四教儀)科1巻 ●(四教儀)集解3巻				

* 塗りつぶしは同本または異名同本と考えられる著述、()内の著述は当該目録に作者名が無記の著述、()内の著述は当該目録対照により問題がある著述、●を附す著述は目録では初出の著述、▲を附す著述は初出の可能性もあるが同本異名として既に前出の可能性が高い著述、書名にアンダーラインを引く著述は同一目録で異巻数のある著述である。尚、僧名列で()内の僧侶はその存在及び著述が日本資料で知られる僧侶、()内の僧侶は中国資料で知られる僧侶、[]内の僧侶は朝鮮資料によって知られる僧侶であり、韓国仏教解題辞典列でゴシック体の著述は現存著述である。